

九州本部 倫理委員会の概要

1. 倫理委員会設置の背景

技術者倫理は、技術者によるデータ改ざん、事故などの不祥事が明るみになるたびにいつも話題となります。

これまでも杭打ち作業や地盤改良によるデータの不正隠匿、自動車会社による燃費性能のデータ偽装及び各種製品の性能偽装など、技術者が関与する不祥事は多岐にわたっていました。

一方、技術者倫理問題に対して技術士会活動に目を転じると、中部本部や中国本部は、比較的早くから活発に研究や啓発活動を行っています。

これに対して九州本部では、技術士試験合格者に対する講演や CPD 研修会での講演などのテーマで技術者倫理を取り上げてきました。また、県支部単位では、大学や高専において委員が技術者倫理科目の授業を担当するなどの活動がなされていました。

このような状況から、九州本部においても技術者倫理に対する人や組織のあり方を明確にしておく必要がある方針から、より組織的に活動が行える体制を目指し、2016年度に九州本部研修委員会の下部組織として倫理小委員会が設置され、2017年度からは独立した委員会活動を本格的に開始しました。

2. 倫理委員会の活動方針

「技術者倫理」は、技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）の一つに位置づけられており、技術士であれば最低限備えるべき資質能力であるとされています。

当委員会は、小委員会設立当初より「①技術士倫理綱領の解釈研究」「②各分野における倫理問題の研究」「③九州地域を中心とする事例研究」を、大きな活動方針に掲げ、委員の資質向上に努めてきました。

また、技術士の資質向上の責務の一つである技術士 CPD において、2021 年 9 月 8 日に、技術士 CPD 活動実績の管理及び活用制度が始まり、高度なエンジニアとして必要な CPD 時間の目安において、資質区分「技術者倫理」の CPD 時間の実績が求められています。

これらを踏まえ、当委員会は以下のような活動方針を掲げます。

- 九州本部が企画する技術者倫理に関する活動を担当
- 県支部から技術者倫理に関する講演依頼があった場合の担当
- 資質区分「技術者倫理」に関する CPD 行事の開催
- 九州管内の大学や高専から技術者倫理教育の委託相談を受けた場合の受け皿
- 官庁や企業から技術者倫理に関する説明会開催や講演の依頼を受けた場合の受け皿
- 統括本部ならびに他地域本部の倫理機関とのネットワークづくり

3. 倫理委員会の構成

当委員会は、九州本部及び各県支部より推薦・承認された委員により構成され、活動方針に基づく具体的な取り組みを実施するため、以下のような組織構成で動いています。

チーム（担当）		主な所掌
タスクチーム	活動管理 タスクチーム	・当委員会の各種活動の記録を整理し、保管・継承する。 ・年度ごとに「活動報告書」としてまとめ、公開する。
	教育啓発 タスクチーム	・九州管内の大学・高専への技術者倫理教育へのサポート。 ・地元企業への社内倫理教育のケーススタディ検討。協賛企業への支援。 ・講師の倫理成熟度レベルを担保（“オラガ倫理”の回避）。
	企画・配信 タスクチーム	・公開型技術者倫理 CPD の企画、運営。 ・WEB 配信システムの操作、管理。
	連携・交流 タスクチーム	・既往の倫理研究組織との連携。 ・他地域本部倫理委員会との情報交換。
会計担当		・対外的イベントにおける会計、九州本部との清算。
沖縄管内倫理支援担当		・沖縄県内の技術者倫理啓発支援。

4. 倫理委員会に求められる成果

- 大学や高専での倫理教育の受け皿
委員の技術者（士）倫理に関する力量（スキル）を担保した上での講師派遣
- 九州本部会員への啓発と講義
九州本部独自の倫理規定（書）の策定と普及・啓発
論文発表会等へ研究（検討）成果をペーパー投稿
- 統括本部・他地域本部の倫理機関とのネットワークづくり
全国大会専門部会への参加、先行する統括本部や他地域本部との情報交換やヒアリング
- 大学や高専の倫理教育者（担当者）との連携
“学”とのネットワーク強化、九州本部のアウトリーチ活動としての活性化、JABEE 対応